

別紙1 事業計画書

団体名	株式会社健康しが企画室
事業タイトル	信楽の魅力を感じて五感で体感プログラム

1. 事業内容

※上記で選択した事業区分を踏まえながら、事業内容を具体的に記入してください。

(1)事業概要 ((2)~(5)を要約して記入してください) 200字以内

信楽駅から徒歩で信楽焼に関するスポットを巡るツアーを考案し、窯焼き体験等も組み込むことで繰り返し信楽を訪れるきっかけを作り、定期的な運動を促す。

(2)団体における事業の新規性

例1：これまでは健康に関する物品の販売を主軸に事業を行っていたが、今回初めて伝統工芸を楽しみながら健康になれるツアーを考案する。(これまで実施したことが無いことに取り組む場合)

例2：これまでも信楽駅周辺の活性化に向けて単発のツアーを実施していたが、今回初めて健康の要素(ウォーキング)を盛り込んだ複数回のツアーを考案する。(これまで実施してきた事業に新しい視点を盛り)

(3)事業詳細

- ・対象者：対象者は誰ですか？
- ・実施理由：200字以内でご記入ください。自団体が事業を実施できる理由や強みを明記してください。
- ・事業の実施方法と実施場所：(例：〇〇公園でイベント実施、オンラインで健康体操セミナー実施)

【対象者】

陶芸などに関心のある中高年

【実施理由】

趣味を持つことは、高齢者にとって地域のつながりに参加するきっかけとなると考える。しかし、働き世代の間は、忙しく趣味を見つけることが難しいと思われる。そこで、信楽にも活動拠点があり、窯元とのつながりもある当団体が地元の団体と連携し、今後の新しい趣味を見つけるきっかけとなるプログラムを実施したい。

【事業の実施方法と実施場所】

信楽焼に関する施設と連携し、4回分のコースを考案。インターネットや駅などで集客。各回集まった方とツアーを通して、軽い運動と信楽焼の体験等を行う。毎回参加費は徴収する。実施場所は、信楽駅周辺の徒歩で巡るエリア。

(4)連携が見込まれる団体等および連携先に期待する役割 ※単なる事業委託は含まない。

団体名	連携見込みの程度			連携先の役割
	連携依頼済	連携依頼予定	未定	
株式会社〇〇〇			○	株式会社〇〇主催の近隣地域で開催されるイベントとの連携の取組を検討する。
△△株式会社		○		窯の見学、焼きものづくり体験でお客様を受け入れていただく。
NPO法人◇◇◇	○			コースを一緒に検討し、当日のボランティアガイドを依頼する。

※事業を実施することにより、県民の健康づくりにどのように貢献するか。マンドラシートの中の要素に該当するか

(別添) マンドラシートに○を付けてください。

(5)スケジュール（7月～2月）を具体的に記入してください。

7月	コース検討、協力団体依頼
8月	協力団体依頼、周知開始（⑤SNS運用、⑥チラシ等配布など）
9月	申込〆切
10月	①ツアー1回目、ツアーレポート配信
11月	②ツアー2回目
12月	③ツアー3回目
1月	④ツアー4回目
2月	開催結果取りまとめ

2. 事業の実施を通じて期待されること

※次の(1)期待されること・(2)効果の測定方法について、具体的に記入してください。

【(1)期待されること】

陶芸の魅力を知り、新しい趣味として継続して楽しむ方が増える。繰り返し信楽を訪れることで、リピーターとなり、今後の訪問も期待される。徒歩圏内の広さを知ること、生活の中でも歩くことが増える。

【(2)効果の測定方法】

ツアーの最後にアンケートを実施し、満足度をはかる。ツアーで訪れた施設のクーポンを公式SNS限定で配信し、その利用状況からリピート具合をはかる。

3. 継続性・発展性

※次年度以降この事業を自主的に継続させていく方法や、他団体や他地域へ発展させていく計画を記入してください。

【自主的に継続させていく計画例】

今年度のうちにリピーターを確保。また、口コミで広がるよう、発信したくなるツアー内容を検討。参加費は繰り返し参加しても負担になりすぎず、一方で必要経費はすべて参加者負担となる価格で設定し、無理のない運営ができるようにする。

【他団体や他地域への発展例】

公共交通機関＋ウォーキングの移動と工芸体験を組み合わせたツアーは他地域でも展開可能だと思うので、本事業が好評だった場合は、県内で気軽に伝統工芸が体験できる施設のある地域から展開を図っていきたい。